

平成30年度 企画政策部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	平成30年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備などを進めます。そのために、平成30年度は引き続き目標実現に向け、関係機関と協議調整を進めるとともに、各関連個別計画を推進します。 ・高齢者の住み替えを支援し、子育て世代の移住を進めるため、住み替えニーズの把握や地域の情報発信の強化に取り組めます。そのために、平成30年度は大麻・文京台を活動拠点としている地域おこし協力隊による住み替え相談窓口を継続するとともに、ニーズ把握のためのアンケート調査等の実施、大麻・文京台専用ホームページなど情報発信内容の充実を図ります。 ・平成30年度以降も駅周辺における交通施設の整備に合わせたバリアフリー化を関係機関等とともに進めます。 							
	05-02 交通環境の充実							
	・持続可能な公共交通網を形成するため、平成30年度は地域公共交通網形成計画・地域公共交通再編実施計画を作成のうえ、市内バス路線の再編や利用促進に関する事業を推進します。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7	77.1	77.6	79.1	↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9	60.8	64.2	65.9	↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数		件	3	7	5	15	↗	
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員		千人	548	523	554	610	→	

政策 08	政策展開の方向性						
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。						
協働	平成30年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）						
	08-01 協働のまちづくりの推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・市内4大学は江別市にとっての知的資源、財産であることを踏まえ、大学と地域との連携を進めるため、調査研究助成事業や学生地域活動支援事業の成果の情報発信を継続するほか、大学版出前講座の自治会等での活用推進に向け、PRを行っていきます。 ・若い世代の大都市圏への流出が課題となっている中、約1万人の学生が市内大学に在学している地域特性を生かして、道内自治体や市内関係団体と連携して「学生地域定着推進広域連携協議会」を運営し、学生の地域活動（インターンシップやボランティア活動等）と受入先とのマッチングを行うことで、学生の地域定着と大学の活性化を図ります。 ・若い世代を中心とした独身の男女の結婚に対する希望の実現を支援するため、出会いの場づくりを行うとともに、市の魅力をPRすることにより定住人口、交流人口の増加を図ります。 ・友好都市との都市間協力体制・連携強化を図っていくために、市民相互による交流事業などを推進します。引き続き、小中学生相互交流や両市特産品のPRなどの地域振興を柱とした交流事業を実施するほか、平成30年度は友好都市提携40周年を迎えることから、この節目を祝う記念式典等の実施により、両市の友好関係を一層深めます。 							
08-02 国際交流の推進							
<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流を担う市民や団体の育成に向けた支援を進めることで、市全体の国際交流理解の向上を図ります。そのために、引き続き姉妹都市グレンシャム市との教育・文化などを柱とした相互交流を実施するほか、経済交流についても関係団体等と情報を共有し、その可能性について検討を進めます。 ・在住外国人に対する情報提供を充実させ、生活利便性の向上を図ります。そのために、平成30年度も引き続き、国際交流員や国際センターと協力のもと、在住外国人への情報発信や国際交流イベント等の周知を拡充するなど、外国人にとって住みよいまちづくりを推進します。 							
政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合		%	23.1	21.7	24.4	23.6	↗
お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合		%	42.7	51.5	52.3	49.2	↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数		件	6	9	11	11	↗
「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数		人	895	964	1,096	1,207	↗

政策 09 計 画 推 進	政策展開の方向性																																		
	効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。 さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。																																		
	平成30年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）																																		
	09-01 自主・自立の市政運営の推進																																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次江別市総合計画を効果的に推進するため、行政評価システムを活用したPDCAサイクルによる進行管理を継続し、まちづくり政策と未来戦略の成果向上を図ります。平成30年度は、平成29年度までの外部評価結果を総合計画の後期に反映させるよう取組を進めます。 ・「江別市行政改革大綱」に基づき、時代や環境の変化に合わせた行政運営手法を構築します。そのために、「行政改革推進計画」の進行管理により、行革項目の着実な実行を図りながら、次期計画に向けて新たな課題への検討を進めます。 ・石狩管内市町村で構成する札幌広域圏組合を通じて、管内8市町村で連携して、圏域全体の魅力向上につながる事業を実施していくとともに、札幌市厚別区及び北広島市と連携する近隣市交流事業により江別市の魅力や認知度の向上に向け効果的な広域連携事業を実施します。 																																		
	09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進																																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政情報の共有化を推進し、市政への理解を深めるために、市民が状況に応じて行政情報入手できる環境整備を進め、様々な機会を通じて市民が意見を提案しやすい環境づくりに努めます。そのために、平成30年度は、市民がより理解しやすい広報誌として、タイムリーな特集記事の充実など、理解しやすい、読みやすい誌面の工夫をさらに進めます。一方で、関心が高い行政・地域情報の積極的な発信と、市民の意見が市政に反映されやすいように、市民にわかりやすい広聴の充実等を図っていきます。 ・えべつシティプロモーション事業では、「食」を核に、札幌圏の子育てママを主要ターゲットとしたプロモーションの展開として、フリーペーパーの活用・PRセミナー、ネットメディア向けPRなどを実施するほか、「江別シティプロモート推進協議会」による官民一体の実践活動やSNSの活用などに引き続き取り組みます。 																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政運営に満足している市民割合</td> <td>%</td> <td>64.7</td> <td>59.4</td> <td>62.7</td> <td>65.4</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>行政情報の共有化を感じる市民割合</td> <td>%</td> <td>72.7</td> <td>65.8</td> <td>69.4</td> <td>70.4</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>男女が平等だと思う市民割合</td> <td>%</td> <td>48.7</td> <td>44.3</td> <td>45.1</td> <td>46.3</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標	市政運営に満足している市民割合	%	64.7	59.4	62.7	65.4	↗	行政情報の共有化を感じる市民割合	%	72.7	65.8	69.4	70.4	↗	男女が平等だと思う市民割合	%	48.7	44.3	45.1	46.3	↗
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標																												
	市政運営に満足している市民割合	%	64.7	59.4	62.7	65.4	↗																												
行政情報の共有化を感じる市民割合	%	72.7	65.8	69.4	70.4	↗																													
男女が平等だと思う市民割合	%	48.7	44.3	45.1	46.3	↗																													
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																																			
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「行政評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>47.3</td> <td>54.2</td> <td>64.9</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>計画的に成果が上がっている事務事業の割合</td> <td>%</td> <td>93.0</td> <td>89.5</td> <td>90.4</td> <td>92.3</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合</td> <td>%</td> <td>84.8</td> <td>87.8</td> <td>88.5</td> <td>86.1</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							「行政評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	—	47.3	54.2	64.9	↗	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	93.0	89.5	90.4	92.3	↗	「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合	%	84.8	87.8	88.5	86.1	↗								
「行政評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	—	47.3	54.2	64.9	↗																													
計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	93.0	89.5	90.4	92.3	↗																													
「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合	%	84.8	87.8	88.5	86.1	↗																													

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	■1B 大学が活躍するまちづくり 「大学版出前講座支援事業」(企画課) 「大学連携調査研究助成事業」(企画課) 「大学連携学生地域活動支援事業」(企画課) 「学生地域定着自治体連携事業」(企画課)
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり) 「公共交通利用促進対策事業」 (政策推進課参事 公共交通担当) 「大麻地区住環境活性化事業」 (政策推進課参事 住環境活性化)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「ウェルカム江別事業」(広報広聴課) 「えべつシティプロモーション事業」(政策推進課)

3. 企画政策部の資源

		実 績			予算額	
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	573,222	158,576	97,560	146,622	132,269
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	573,222	158,576	97,560	146,622	132,269
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	28	30	30	30	31
	平均単価 (b)	7,853	7,764	7,670	7,703	7,722
	人件費 (a×b)	219,884	232,920	230,100	231,090	239,382
総 額		793,106	391,496	327,660	377,712	371,651